

今、

言語系学会は、学問研究の成果を、

どのような形で社会に

還元
することができるか

?

—言語教育への貢献を巡って

2014年11月8日[土]
15:15~18:00

会場/学習院大学目白キャンパス
(〒171-0031 東京都豊島区目白1-5-1)
中央教育研究棟301教室・302教室

お問い合わせ：言語系学会連合事務局 uals.office@gmail.com
日本英語学会事務局 elsj-info@kaitakusha.co.jp



参加費
無料

主催：
言語系学会連合
<http://www.nacos.com/gengoren/>

日本英語学会
<http://elsj.kaitakusha.co.jp/>

言語系学会は、学問研究の成果を、 今、どのような形で社会に 還元することができるか？

— 言語教育への貢献を巡って

2014年11月8日[土] 15:15～18:00

会場 / 学習院大学目白キャンパス

大学は、大学生の教育と学問の研究を目的として存在し、機能しており、その活動に関しては、ステークホルダーたる国民や社会に対して説明責任を負っている。言語系学会の会員の多くは大学で勤務しており、日ごろは言語学の研究成果をコースワークや論文指導等を通して大学生に提供することにより、その説明責任を果たしているが、それ以外にも、例えば、小・中・高の英語教員への新しい文法や教授法の提供や、翻訳、法廷通訳等の通訳、市民講座等での講演、手話指導、震災時の外国人に対する情報提供等、多種多様な形で直接的、間接的に社会への貢献に努めている。

本公開特別シンポジウムは、言語系学会連合に属する学会の言語教育への貢献の在り方に的を絞り、これらの学会が、自らの学問研究の成果をどのような形で言語教育の発展に活かし、その説明責任を果たそうとしているかについて自由に語る。このシンポジウムが、シンポジウム参加者にとって、言語系学会の、あるいは、自らの社会貢献の在り方を探っていく場となることを期待するとともに、大学や言語系学会の存在意義についても再考する場となることを願うものである。

司会・講師

〈司会・講師〉

岡田 伸夫 ————— Nobuo Okada

現 職： 関西外国語大学教授

所属学会： 日本英語学会、大学英語教育学会

発表テーマ： 英文法研究の成果を大学英語教育に活かす



〈講師〉

伊東 治己 ————— Harumi Ito

現 職： 鳴門教育大学教授

所属学会： 小学校英語教育学会、全国英語教育学会、
大学英語教育学会

発表テーマ： 小学校英語の教科化について考える



〈講師〉

村野井 仁 ————— Hitoshi Muranoi

現 職： 東北学院大学教授

所属学会： 日本第二言語習得学会、大学英語教育学会、
全国英語教育学会

発表テーマ： 第二言語習得理論の中高英語教育への応用



参加 方法

どなたでも参加できます。

受付は中央教育研究棟301教室の
入り口で行います。

Access

JR山手線「目白」駅下車、徒歩30秒

東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅下車、徒歩7分
都電荒川線「学習院下」、「鬼子母神前」駅も利用可